



人間はなぜ卵から生まれないの

人間も卵から生まれる

人間も卵から生まれるんだと聞けば、びっくりするでしょう。

たとえば、ニワトリは体の外に卵を産み落とします。産み落とされた卵は、受精卵とよばれ、かたいからと、中に大きな黄身と、白身が入っています。黄身は栄養分で、白身はほとんどが水分です。

ニワトリは、卵をずっと温め続けて、ひなをかえます。

人間は卵を体の中で育てる

人間の場合は、お母さんのおなかの中にある卵（らん）と、お父さんの精子が一緒になって、「受精卵」になり、これが育てて赤ちゃんになるのです。

人間は、卵から体ができてしまった後に（卵ではなくなっている）、お母さんの体の外に生まれてくるのです。

人間と同じように、イヌやネコ、ウシ、ウマなどの動物の仲間も、お母さんのおなかの中で受精卵を育て、赤ちゃんを産みます。

お母さんのおなかの中は、とても安全で、いつも温かく、栄養も水も酸素ももらうことで、赤ちゃんはすくすく育つのです。（監修 保志 宏）

